

埼玉・県西版より抜粋

飯能市議会 百条委を設置

市長に「虚偽答弁の可能性」

飯能市議会は1日、与党市議の海外旅行を巡って大久保勝市長が議会で虚偽の答弁をした可能性があるなどとして、地方自治法100条に基づく調査特別委員会(百条委)の設置を賛成多数で決めた。

提案理由などによると、与党市議と市の非常勤の特

別職職員の計3人は8月24、25日、インドネシアに私費で旅行し、現地の旅行フェアで飯能市のPRに参加した。

大久保市長は9月9日に開かれた市議会で「PRは知らない」と答弁したが、市幹部は9月19、27の両日「市長は知っていたはずだ」と説明した。

説明が食い違ったことから、19人の市議のうち12人が「市長の答弁は虚偽の疑いがある」などと指摘し、百条委の設置を求めた。

大久保市長は「極めて重大なことと受け止めている。今後の委員会の推移を見守っていきたい」と話している。

飯能市議会が百条委

海外プレゼン問題で

25年ぶり

飯能市議会は1日、9月定例会最終日の本会議で「海外プレゼン(テーション)等に関する調査特別委員会」(百条委員会)を設置を賛成多数(賛成12、反対6)で可決した。同市議会での百条委設置は1988年以来25年ぶり。

今議会の緊急質問で鳥居誠明議員(清風会)が、市議2人と非常勤特別職の市政策顧問らが8月24日から2日間、インドネシアのジャカルタで行われた旅行フェア「ジャパン・トラベル・エキスポ2013」に参加し、飯能のPRをしたことを取り上げ、「活動は公的なのか」などと質問。大久保市長は「向こうでの行動、活動は私的に行ったもので私の方では知り得ないし、関与もしていない」と答弁した。

議員代表者会議や議員説明会でもこの問題を質疑しており、鳥居議員は最終日の本会議で「市長答弁と政策顧問や担当職員らの発言には大きな相違点がある。旅行費用(25万円)の出所も不透明」などとして調査特別委設置の議案を提出し、可決された。

【海老名富夫】

飯能市長の答弁で

議会が百条委設置

市議らの海外旅行巡り

飯能市議会は1日、市議2人らの海外旅行をめぐる市長の議会答弁が、市側の説明と食い違っているなどとして、地方自治法に基づく「百条委員会」を賛成多数で設置した。

百条委は、自治体の事務に疑惑や不正があった場合に設けられ、関係者の議会への出頭や証言、記録の提出を請求できる。同市で百条委ができるのは25年ぶり。

百条委は「海外プレゼン等に関する調査特別委員会」。市や関係者によると、同市の非常勤特別職の男性職員と市議2人が今年8月、インドネシアに私費で旅行し、ジャカルタのイベントで飯能の魅力などをPRしたという。

この旅行の趣旨について、一部市議が先月の市議会で「公的な旅行なのか。市長は知っていたのか」などと緊急質問。大久保勝市

埼玉・西部版より抜粋

長は「私的な旅行であり、詳しい内容を知らなかった」などと答弁していた。ところが、関係者によると、市議会が非公開の会合で市側に事実確認をしたところ、「市長も旅行の内容を承知していた」という内容の回答を得たという。大久保勝市長は「極めて重大なことと受け止めている。今後の推移を見守りたい」とコメントした。(杉山高志)